

---

# Dell OpenManage Essentials のインストール

---

このデルテクニカルホワイトペーパーは、*OpenManage Essentials* のインストール方法を説明します。

エンタープライズ製品グループ

Pavan Kumar



**本書は、情報提供のみを目的に執筆されており、誤字脱字や技術上の誤りには責任を負いません。  
本書の内容は執筆時現在のものであり、明示的、暗示的を問わず、いかなる内容も保証いたしません。**

© 2011 Dell Inc. ©2011 デル株式会社 All rights reserved. (著作権所有)

デルとその関連会社は、誤字、脱字、誤植や、図、写真の誤りや不備について一切の責任を負いません。Dell、DELL のロゴマーク、OpenManage、PowerEdge は、米国 Dell Inc. の商標です。Intel、インテル、Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、Silverlight、Visual Studio は、米国やその他の国々における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。本書では、マークや名前を届け出た実在のもの、もしくは、その製品のいずれかを参照するため、その他の商標、商号を使用している可能性があります。デルは、その他のマークや名称について、商標上の利権に対する要求に一切に応じません。

2011 年 11 月 | Rev 1.0

## 目次

要旨 .....	4
OpenManage Essentials とは？ .....	4
インストールの最小要件 .....	4
インストール手順 .....	6
Installing Dell OpenManage のインストール .....	7
前提条件となる必須コンポーネント .....	8
前提条件となる必須コンポーネントの自動インストール .....	9
標準インストール .....	9
カスタムインストール .....	10
リモートデータベースのインストール .....	11
トラブルシューティングツール .....	12
プログラムのメンテナンス .....	13
まとめ .....	13

## 表

表 1. ソフトウェアとネットワークの最小要件 .....	4
表 2. システムの最小要件 .....	5



図 1. OpenManage Essentials (OME) のインストールフローチャート .....	6
図 2. OpenManage のインストールオプション画面 .....	7
図 3. OpenManage Essentials の前提条件画面 .....	8
図 4. [Setup Type] (セットアップの種類) 画面に表示された確認メッセージ .....	10
図 5. データベースサーバ .....	11
図 6. リモートデータベースの参照 .....	12
図 7. プログラムのメンテナンス .....	13

## 要旨

本書は、以下の内容を含む OpenManage Essentials のインストール方法について説明します。

1. ハードウェアとソフトウェアの最小要件
2. 前提条件となる必須コンポーネントの 1 クリックインストール
3. リモートデータベースのインストール
4. プログラムのメンテナンス

## OpenManage Essentials とは？

OpenManage Essentials は、Web 形式の軽量なシステム管理ソリューションです。エンタープライズネットワーク内のデルシステム、デバイス、コンポーネントを対象に、包括的な一対多数管理が行えます。

## インストールの最小要件

OpenManage Essentials のインストールには、表 1 と表 2 に示すとおり、最小限のソフトウェア、ネットワーク、システムしか必要としません。インストールを実行するには、システム管理者特権が必要です。

表 1. ソフトウェアとネットワークの最小要件

項目	最小要件
オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® 2008 Standard、もしくは、Enterprise (32 ビットと 64 ビット)、または、Windows 2008 R2
Web サーバ	IIS 7.0
ネットワーク	100 Mbps
Web ブラウザ	Microsoft Internet Explorer® 8 または 9
ユーザインタフェース	Microsoft Silverlight® バージョン 4.0
フレームワーク	.NET 4.0

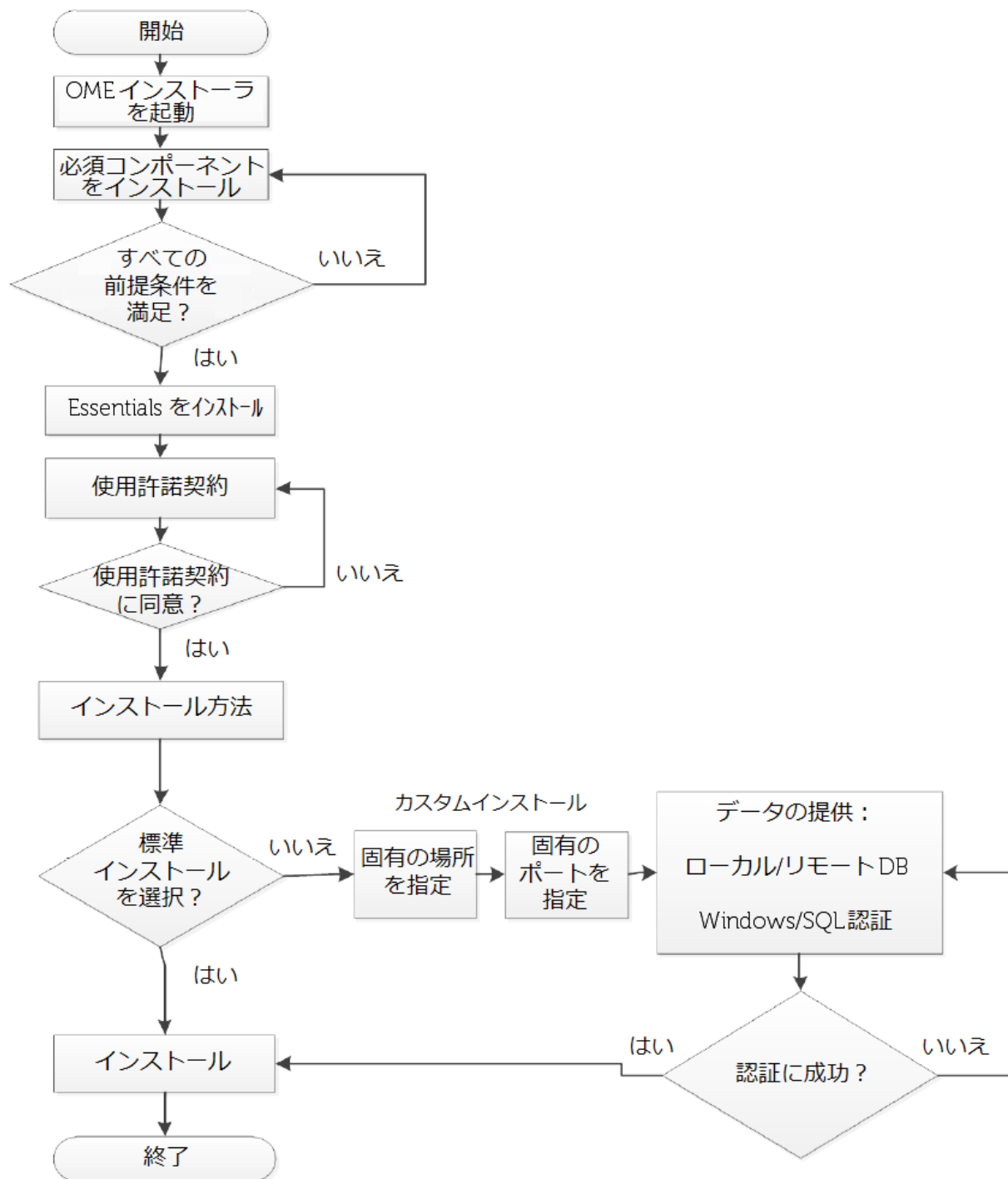
表 2. システムの最小要件

最小要件	大規模導入	中規模導入		小規模導入
デバイス数	2000	500	300	100
仮想マシン/物理マシン	両方	両方	両方	両方
RAM	8 GB	6 GB	6 GB	6 GB
プロセッサ	合計 8 コア	合計 4 コア	合計 4 コア	合計 2 コア
データベース	SQL Server® Enterprise	SQL Server Enterprise	SQL Server Express	SQL Server Express
データベースの場所	リモート	ローカル	ローカル	ローカル
ハードドライブ	10 GB	6 GB	6 GB	6 GB

## インストール手順

OpenManage Essentials のインストールの流れは、図 1 のようになります。

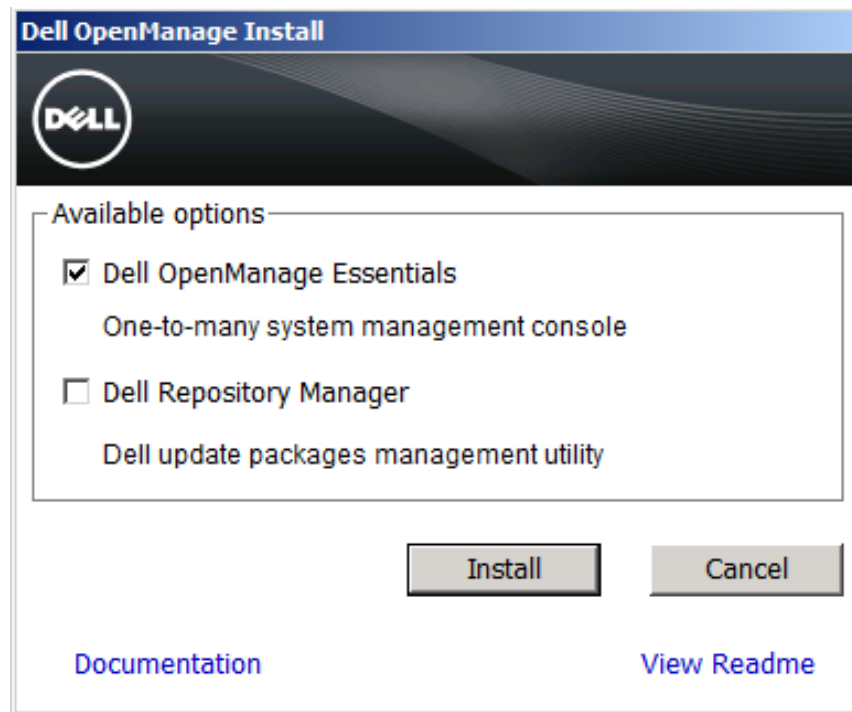
図 1. OpenManage Essentials (OME) のインストールフローチャート



## Installing Dell OpenManage のインストール

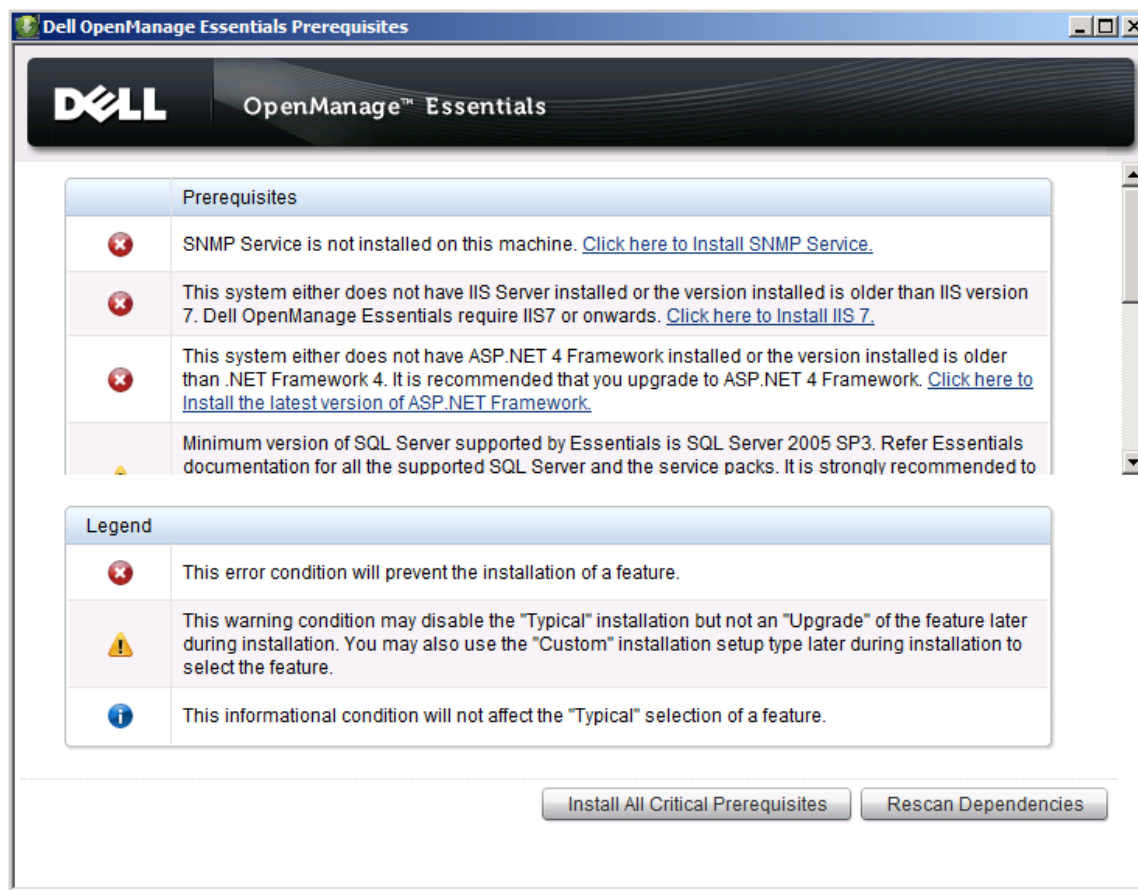
1. OpenManage Essentials パッケージを [ドライバのサイト](#) からダウンロードし、ファイルをローカルドライブ上に解凍します。
2. OpenManage Essentials の実行可能形式ファイルをダブルクリックします。OpenManage インストールオプションのダイアログボックスが表示されます。

図 2. OpenManage のインストールオプション画面



3. [Dell OpenManage Essentials] を選択し、[Install] (インストール) をクリックすると、[OpenManage Essentials Prerequisites] (OpenManage Essentials の前提条件) 画面が現れます。

図 3. OpenManage Essentials の前提条件画面



## 前提条件となる必須コンポーネント

OpenManage Essentials のインストールに必要なコンポーネントが揃っていない場合、または、バージョンが古い場合、[Dell OpenManage Essentials Prerequisites] (前提条件) 画面にその必須コンポーネントが表示されます (図 3)。

前提条件として必要不可欠なコンポーネントには、以下があります：

- SNMP サービス
- IIS 7
- Microsoft .NET 3.5 SP1
- ASP.NET 4
- Microsoft Silverlight 4.0
- Microsoft Visual Studio® Runtime
- IPMI ユーティリティ (BMU ツール)
- DRAC ツール



## 前提条件となる必須コンポーネントの自動インストール

すべての必須コンポーネントを自動インストールするには、[Dell OpenManage Essentials Prerequisites] 画面から [Install All Critical Prerequisites] (前提条件の全必須項目をインストール) を選択します。システム構成によってはリブートが必要になることもありますが、システムの再起動後、自動的に必須コンポーネントのインストールが再開されます。インストールの自動的な再開を妨げないようにするため、システムのユーザアクセスコントロールはオフにしてください。インストール時間は、最長で 35 分ほどです。

SQL Server には、次のような要件があります：

- **ローカルデータベース：** OpenManage Essentials をローカルベース上にセットアップするには、SQL Server 2008 をインストールする必要がありますが、前提条件では「Critical」(必須)ではなく、単に「Warning」(警告)として表示されます。
- **リモートサーバ：** リモートサーバ上にデータベースを配置する場合、ローカルシステム上に SQL Server をインストールする必要はありません。
- **バージョン：** ローカルシステムに SQL Server 2005 がインストールされている場合、最新のサービスパックでアップグレードするか、SQL Server 2008 をインストールするようお勧めします。

## 標準インストール

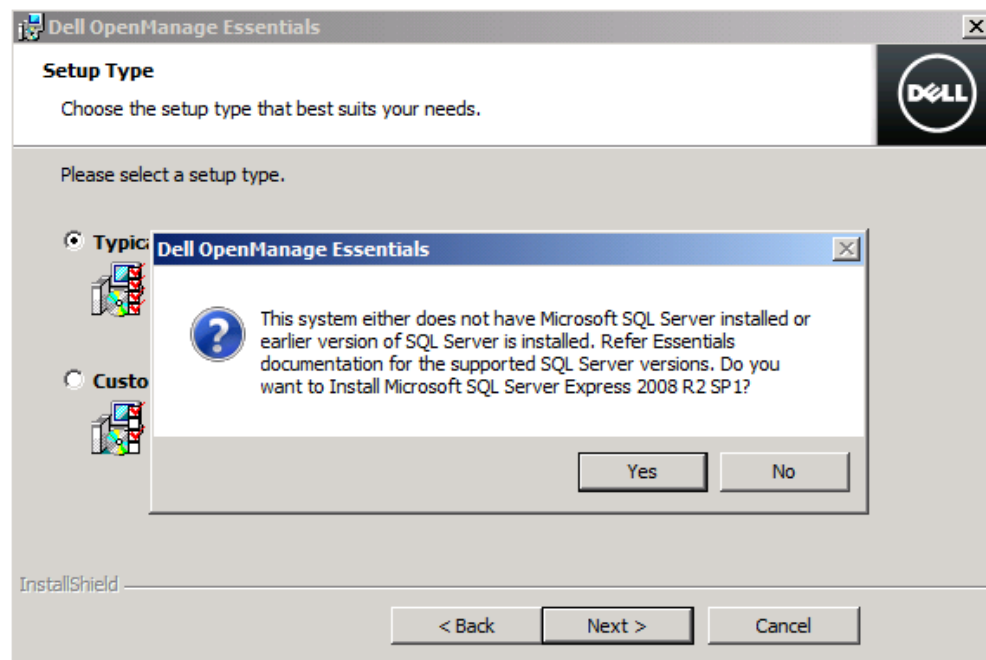
「Typical」(標準) インストールを選択すると、すべてデフォルト設定のままで OpenManage Essentials がインストールされます。この場合、[Setup Type] (セットアップの種類) 画面で [Typical] (標準) を選択し、次に、[Ready to Install the Program] (プログラムのインストール準備完了) 画面で [Install] (インストール) をクリックします。

標準インストールでは：

- デフォルトの認証方法として [SQL Server Authentication] (SQL Server 認証) が選択されます。
- データベースサーバに、デフォルトの SQL インスタンスが選択されます。
- デフォルトの SQL インスタンスがなく、複数の名前付き SQL インスタンスが存在する場合、最初にインストールされた名前付きインスタンスがデータベースサーバとして選択されます。

前提条件で SQL は警告のみの表示となるため、ユーザがインストールし忘れる可能性があります。その場合でも [Setup Type] (セットアップの種類) 画面には到達します。ただし、OpenManage Essentials インストーラが、ユーザに SQL のインストールを尋ねるダイアログボックスを表示します (図 4)。

図 4. [Setup Type] (セットアップの種類) 画面に表示された確認メッセージ

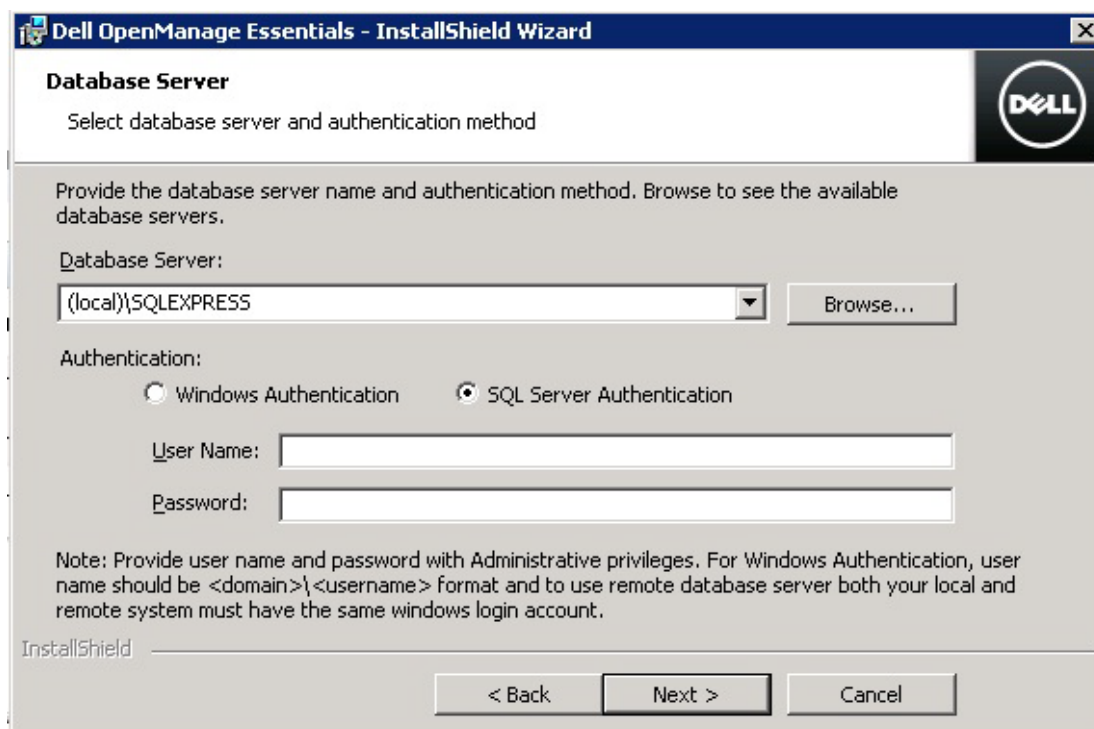


## カスタムインストール

[Custom] (カスタム) インストールは、リモートデータベースをインストールするとき、または、Windows 認証を使ってインストールしたいとき、または、デフォルト以外の場所/ポートを指定したいときに利用します。

OpenManage Essentials をローカルデータベース上にセットアップする場合、複数の SQL Server インスタンスがある環境では、[Database Server] (データベースサーバ) リストから目的のサーバを選択してください (図 5)。

図 5. データベースサーバ



## リモートデータベースのインストール

OpenManage Essentials は、リモートシステム上の SQL サーバインスタンスを使って構成することもできます。

リモートシステム上で OpenManage Essentials データベースをセットアップする前に、必ず、次の前提条件を満たしてください。

- OpenManage Essentials システムとリモートデータベースシステム間のネットワーク通信が適切に機能していること
- SQL Server ユーザに然るべきアクセス権があり、データベースをバックアップ、作成、構成できること
- SQL Server 認証を使ってリモートデータベースをインストールするシステムでは、SQL Server 認証モードが有効になっていること
- データベースの接続問題を避けるため、リモートシステム上で TCP/IP が有効になっていること

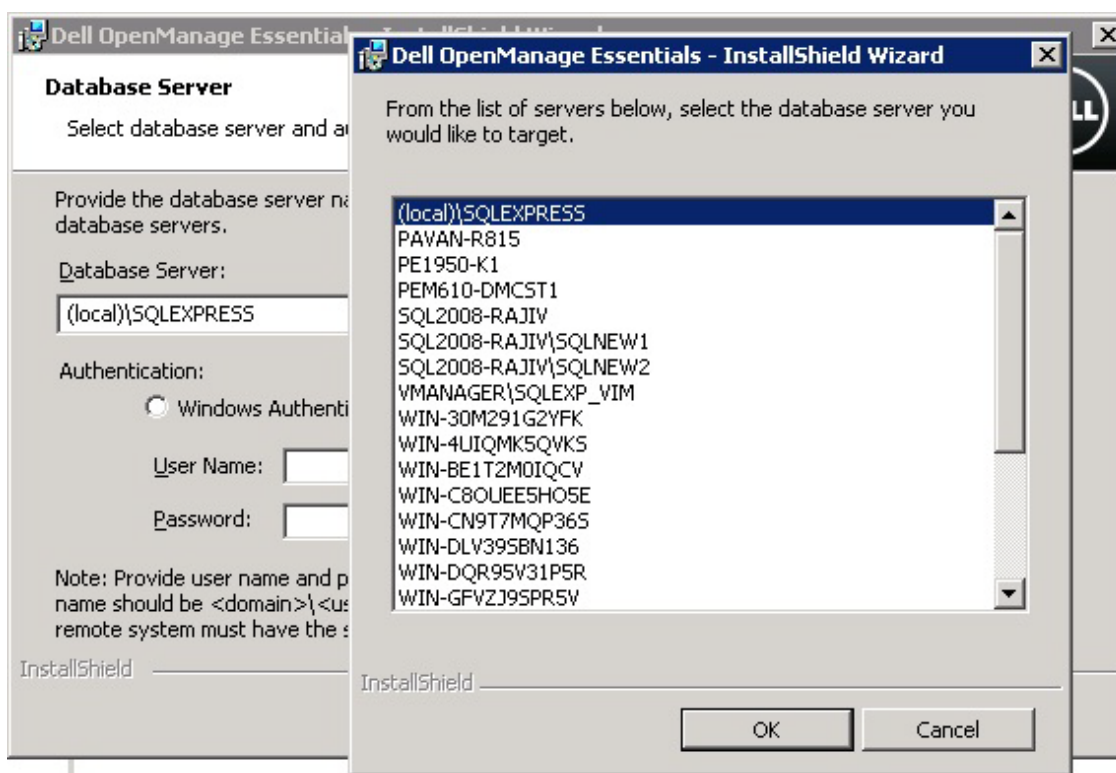
リモートシステム上で OpenManage Essentials データベースをセットアップするには、[Database Server] (データベースサーバ) 画面上で [Browse] (参照) をクリックし、該当するリモートシステムを選択するか、または、[Database Server] フィールドにホスト名とデータベースインスタンスを入力します (図 6)。

インストールは、次の認証方法のうち、いずれか 1 つを使って実行できます。

- **Windows 認証:** リモート SQL Server の接続には、Windows ログイン認証が利用されます。リモートシステムとインストールシステムで同一の Windows ログイン情報を使用しているときは、この認証方法を使用します。
- **SQL Server 認証:** この認証方法は、インストールシステムとリモートデータベースシステムで Windows ログイン認証情報が異なるときに使用します。

リモートシステム上に OpenManage Essentials データベースを一旦セットアップしたら、それ以降、データベースを移動しないでください。移動してしまうと、OpenManage Essentials が稼働を停止し、データが失われます。

図 6. リモートデータベースの参照



## トラブルシューティングツール

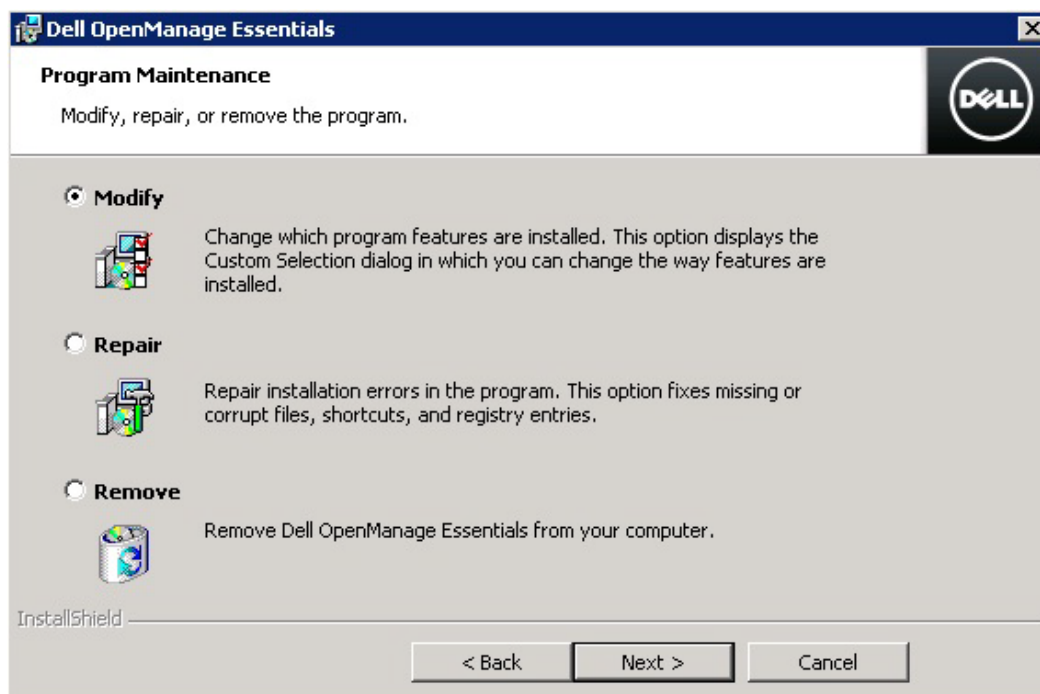
OpenManage Essentials をインストールすると、トラブルシューティングツールも自動インストールされます。このツールは、サポートするデバイスの検出/接続関連エラーをトラブルシューティングするときに有用です。

## プログラムのメンテナンス

Open Manage Essentials は、[Program Maintenance] (プログラムのメンテナンス) 画面から削除することができます (図 7)。

1. OpenManage Essentials が既にインストールされているシステム上で、OpenManage Installer (OpenManage インストーラ) を起動し、[Program Maintenance] (プログラムのメンテナンス) 画面に移動します。
2. [Remove] (削除) を選択し [Next] (次へ) をクリックすると、[Remove the Program] (プログラムの削除) 画面が表示されます。
3. [Remove] (削除) をクリックすると、OpenManage Essentials がアンインストールされます。

図 7. プログラムのメンテナンス



同様に、ファイルを誤って消去してしまったときや、インストールが破損したときは、この [Program Maintenance] 画面から [Repair] (修正) オプションを選択すれば、OpenManage Essentials を修正することができます。

## まとめ

OpenManage Essentials は、容易にインストールできる一対多数の管理コンソールです。前提条件となる必須コンポーネントをわずか 1 クリックでインストールできるなど、システム管理をシンプルにする機能が含まれるほか、リモートデータベースのインストールにも対応できます。